

**ブレインバンクに献体をご了承頂いたご家族皆様へ**  
**(研究に関する情報)**

当院ならびに関連施設では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究への協力を希望されない場合は、下記に記載されている研究の担当者までお知らせください。なお、研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはありません。

研究課題名	アルツハイマー病を中心とした神経変性疾患における臨床病理学的網膜の検索 (福祉村病院倫理委員会承認番号#407, #407-C-1)
当院の研究責任者	福祉村病院長寿医学研究所 研究員 赤津 裕泰 (名古屋市立大学医学研究科 教授)
他の研究機関および各施設の研究責任者	浜松医科大学大学院医学研究科 教授 瀬藤光利 福祉村病院神経病理研究所 所長 橋詰良夫 〃 研究員 堀 映 名古屋市立大学大学院医学研究科眼科学教室 教授 加藤亜紀 〃 准教授 安川 力 名古屋市立大学神経内科 教授 松川則之 〃 大学院生 足立謙一、間所佑太、池田知雅 北品川眼科 神蔵陽子 東京大学大学院理学系研究科附属フォトサイエンス研究機構 助教 小西邦昭 自然科学研究機構 分子科学研究所 教授 岡本裕巳、 助教 成島哲也
本研究の目的	アルツハイマー病患者の老人斑に局在するアミロイド β が、網膜内層（網膜神経繊維層や網膜神経節細胞層）や網膜色素上皮下の軟性ドルーゼン内にも局在することが知られていて、アルツハイマー病との関連が報告されている。アルツハイマー病の補助診断、治療効果判定に網膜内のアミロイド β の局在や軟性ドルーゼンなどの眼底所見が参考になる可能性がある。また昨今の神経変性疾患のプリオノイドとしての挙動を考えると他の神経変性疾患における変性蛋白も網膜内と脳内の関連を認められる可能性がある。解剖症例における脳内と網膜における組織学的検討とともに、眼底検査の活用により、臨床補助診断、将来的な治療効果判定を確立できる可能性があり、その検討も進める。
対象者該当期間	福祉村ブレインバンクに保管されている全症例。
研究の方法	1) 網膜中枢側を牛眼等に固定し偏光照射による網膜像の解析 2) 網膜組織の免疫組織学的検討と脳組織所見との比較検討

個人情報の取扱い	長寿医学研究所個人情報管理者によって適切に管理される。
お問い合わせ先	名古屋市立大学大学院 医学研究科 地域医療教育学(秘書宛) 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 TEL 052-853-8527 (内線 8527)
備考	